

夏祭りの風景

宇受賀命神社

7月10日と11日、宇受賀地区に鎮座する宇受賀命神社では例大祭が行われました。

11日の本祭では、通常の神事に加えて子供会代表4名による「浦安（うらやす）の舞」（下写真）が初めて奉納されたほか、行事の最後には、子供会全員による道中神楽の奉納が行われました。

また、宇受賀命神社はこのたび「第12期 神社本庁神社振興対策指定神社」に海士町で初めて選ばれ、本祭の後には指定証交付式が行われました。指定証伝達を行った、島根県神社庁の青木副庁長は、「次世代を背負う子供たちをどう育てていくかが大きな宿題。力を合わせ、神社という立場から個性豊かな子供たちを育てていっていただきたい」と挨拶されました。



神社振興対策指定証の交付式



海士小の5、6年生による浦安の舞



子供会の道中神楽。祭事で行うのは初めて

今年4月に家族でUターンして来られた宮司の村尾茂樹さんは、子供が多く参加した宇受賀命神社の今回の祭事について、「子供たちのよい思い出になり神社に親しみをもってもらえれば、今後はお掃除に参加してみたり、ひいては地域を愛する気持ちにつながる」と語っています。「子供を神社に集めることで親の関心も向く。神社の目から見た地域振興として取り組んでいきたい」と、わかりやすい情報発信や啓発イベントなど、今後の活動に意欲的です。

今年4月に家族でUターンして来られた宮司の村尾茂樹さんは、子供が多く参加した宇受賀命神社の今回の祭事について、「子供たちのよい思い出になり神社に親しみをもってもらえれば、今後はお掃除に参加してみたり、ひいては地域を愛する気持ちにつながる」と語っています。「子供を神社に集めることで親の関心も向く。神社の目から見た地域振興として取り組んでいきたい」と、わかりやすい情報発信や啓発イベントなど、今後の活動に意欲的です。

*

今年、東地区の東神社では4年ぶりの大祭が、また中里地区の諏訪神社では8年ぶりの大祭が行われ、まさに祭りの「当たり年」。

舞いや楽士の演奏を、多くの町民が楽しみました。

東神社



諏訪神社





隠岐神社で奉告祈願祭を行った後、みんなで記念撮影

平成21年度 成人式

8月15日、平成21年度海士町成人式が行われました。隠岐神社で執り行われた奉告祈願祭には、該当者28名のうち24名が参加し、新成人を代表して門昌之さんが玉串奉奠を行いました。その後は開発センターに会場を移し、式典が催されました。山内道雄町長は式辞で、「自分を失わず、自らを大切に育ててほしい」というエールに加えて、「願わくば、いつか海士のまちづくりにとともに取り組む仲間になってほしい」と熱い思いを語りました。



式典にて、海士町唱歌を斉唱

成人代表の高橋英吾さんからは「自分のなさなければならないことをしっかりと見極めながら、一歩一歩着実に進んでいく覚悟です」との誓いの言葉が、(下写真、右)また福山涼子さんからは、感謝を込めて「私たちが21世紀を担うのだという自覚を持ち、さまざまな課題を解決していけるよう努力していきたい」との謝辞が読み上げられました。(下写真、左) 式典後に行われた講演では、商品開発研修生として活躍するサミラ・グナワラデナさんが、「母国スリランカを離れ海士で働く自分と、海士を離れて将来を模索する新成人の皆さんの状況は同じ」とコメント。故郷とは違う場所で、真摯に自分の生き様を探ることを応援するメッセージが贈られました。



祝賀会ではお酒もOK。恩師のお酌に感無量？



「魅力的な人間になれるよう頑張る」と福山さん



堂々と誓いの言葉を読み上げる高橋さん

海士診療所から お知らせ

お願い！
&

■CT装置導入！

本年度、海士診療所にCT装置を導入します。

導入にあたっては診療所の増改築が必要となり、外来診察室の改築も合わせ、9月下旬から当分の間増改築工事を行う予定です。

工事期間中は、患者の皆様方には騒音等でご迷惑やご不便をお掛けすることとなりますが、ご理解とご協力をお願い致します。

■新型インフルエンザ蔓延防止にご協力を！

全国的に新型インフルエンザが流行しており、すでに島根県内でも数例の報告がされています。

「インフルエンザ症状」で受診される方は、次の点について特にご協力をお願い致します。

① 受診される方は、必ず事前に電話をしてマスクを着用のうえ来院してください。

② 急な発熱、咳、のどの痛みなど、「インフルエンザ症状」のある方は、必ず受付職員にお知らせください。

※連絡せずに待合室で長時間待っていることがないように、十分に注意してください。

新型インフルエンザ感染拡大防止のため、皆さまのご協力をよろしくお願いします！

